

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	- 一般小売店〔酒類〕 （経営者） 家電量販店（店長） 乗用車販売店（営業担 当） ゴルフ場（従業員）	- ・地元で売り出ししている鍋焼きラーメンが好調であり、そ の経済波及効果が期待される。 ・デジタル家電、情報関連商品の新製品発売が予定されてい るため、販売数量の大幅な増加は望めないにしても、単価が 上昇する。 ・10月に発売される新型車に期待している。 ・予約状況を見ると、大きなゴルフコンペやミーティングが セットされたゴルフコンペが多く、売上の増加が期待され る。
	変わらない	商店街（代表者）	・来客数の低迷が続いている。また、空き店舗が増加してお り、景気の回復には時間がかかる。
		百貨店（営業担当）	・数か月ぶりに、全てのブランド商品の売上が前年を上回っ たが、商品群やブランドにより好不調がはっきりしてきてい る。商品を選別する消費者の目が厳しい状況に変わりはない。
		コンビニ（エリア担 当）	・晴天が続いたことと気温が高かったことにより、飲料を中 心に食品関係の売れ行きが非常に好調であるが、景気全体を 押し上げるほどの影響力はない。
		コンビニ（店長）	・国体関係の工事が終わると、元の状態に戻ってしまう。
		衣料品専門店（店長）	・単価は少し上昇しているが、販売量が少ないままであり、 不要不急の販売につながらない。
		家電量販店（営業担 当）	・販売台数は前年並であるが、単価が上がらないため、売上 が伸びない。
		その他専門店〔CD〕 （店員）	・売上に下げ止まり感が出ており、しばらくはこのままの状 態が続く。
		都市型ホテル（経営 者）	・予約状況を見ると、来客数は増加するが、単価が低下する ため、あまり変わらない。
		タクシー運転手	・給料ダウン、ボーナスカットという声が多く、現状よりも 良くなるとは考えにくく、ほぼ横ばいと判断している。
	観光名所（経営者）	・予約状況を見ると、団体客は増加しているが、個人客が減 少しており、前年並である。	
	設計事務所（所長）	・マンションが完売するまでの期間が伸びてきており、一時 の勢いが無い。	
	やや悪くなる	スーパー（店長）	・今年の6月以降、売上の減少に歯止めがかからず、じり貧 傾向にある。
		コンビニ（店長）	・売上の落ち込みが予想以上に大きく、この流れから判断し て、もう少し悪くなる。
衣料品専門店（経営 者）		・販売量、来客数、単価が低迷しており、また、ファッショ ンをリードする商品が見当たらないことから、少し厳しい状 況である。	
美容室（経営者）		・来客数の減少が続いている。	
悪くなる	通信会社（企画担当）	・1人あたりの通話料の減少が続いており、好転が見込めな い。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	- 化学工業（営業担当） 通信業（営業担当）	- ・1か月から3か月先の生産計画の明確な提示があり、ま た、その計画もほぼ予定通りに推移している。全体的に力強 さが感じられるが、価格面は非常に厳しい。 ・中間決算の時期が過ぎると、設備投資やシステムの需要も 上向いてくる。
	変わらない	一般機械器具製造業 （経理担当）	・大都市部と地方ではクレーンの仕事量の格差が見られ、地 方ほど仕事量は低調である。また、稼働率が悪く、ユーザー マインドも冷え込んでいることから、しばらくは受注の回復 が見込まれない。
		輸送業（支店長）	・海外生産へのシフトが進む中では、国内物流は減少傾向が 続く。
		輸送業（配車担当）	・遊休地の活用を不動産業者に持ちかけても、全く引き合い がないという回答であり、今の状況が続く。
		広告代理店（経営者）	・広告費の見直しにより、レギュラー契約のテレビコマー シャル広告を半減した得意先もあり、依然として厳しい状況 が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	広告代理店（経営者）	・今期、当社のクライアントが2社倒産、1社廃業している。そして、まだまだ不安なクライアントもあり、景気が良くなる気配が感じられない。
		不動産業（経営者） 公認会計士	・この秋の法人の異動が大変少なくなってきている。 ・特に小売業において、年末の手形決済ができないという相談が増えている。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる		
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・社員の採用数が増加してきているが、ほとんどが欠員補充のためであり、現状維持である。
		職業安定所（職員）	・求人数が増加しても、求職者の増加が大きく、改善がみられない。また、求人内容の質も低下しており、雇用の改善につながりにくい。
		職業安定所（職員）	・パートを含む有効求人倍率は、0.03ポイント改善しているが、求人数は、新規、有効ともに対前年比で減少している。また、雇用保険の被保険者数も、運輸・通信業を除く、全ての産業で対前月比マイナスとなっており、改善の兆しを感じられない。
		職業安定所（職員）	・良くなる要素が見当たらない。常に来所者で混雑している状況では、景気の回復はない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・ソフトウェア開発関連の企業から大量の契約終了の申し出があるが、この契約終了者を受け入れられる派遣先が見つからない。また、派遣単価についても下落傾向にある。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求職者数と求人数のアンバランスが依然と続いており、また、賃金の抑制動向も顕著になっている。
	悪くなる	-	-